

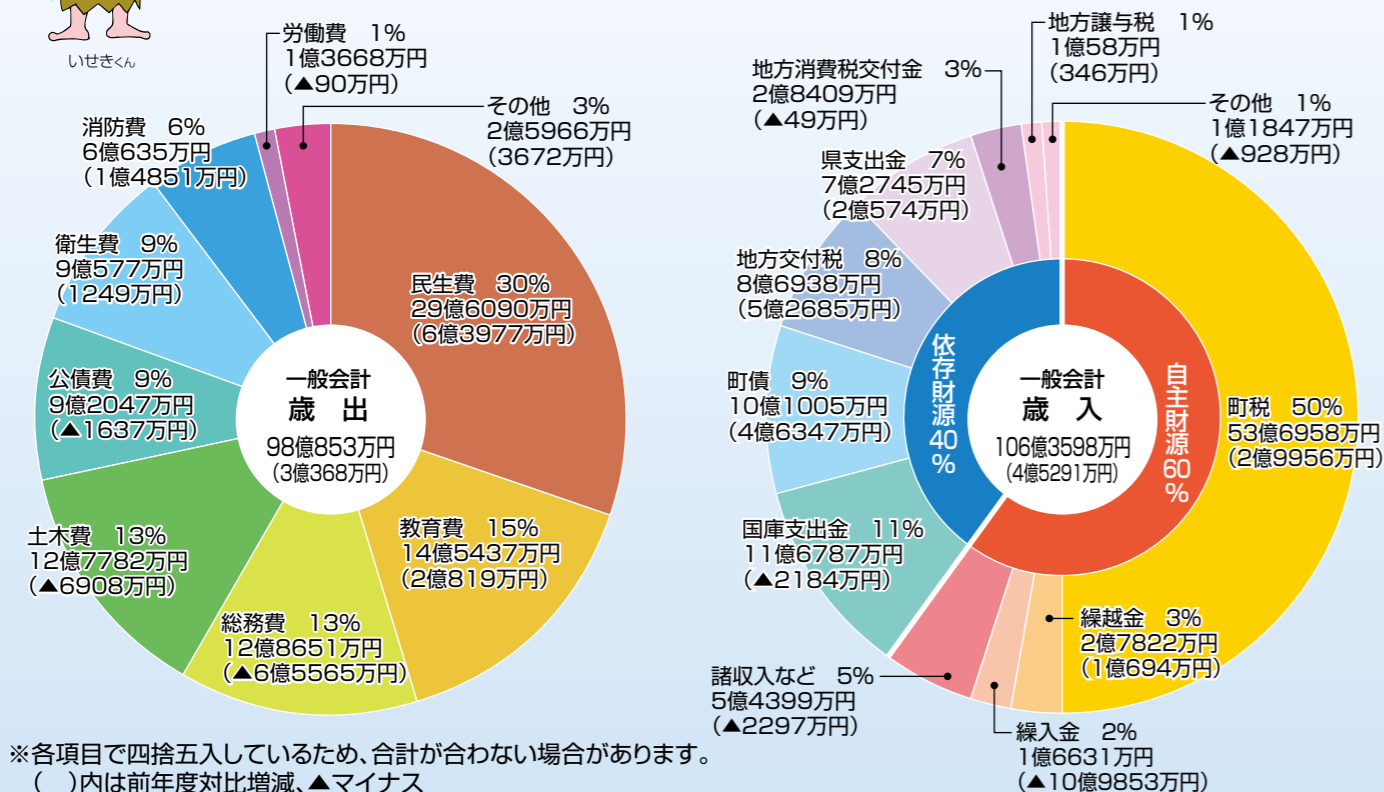


平成

22年度決算173億6782万円を認定



やよいちゃん



平成22年度各会計歳入歳出決算額

区分	歳入	歳出
一般会計	106億3598万円	98億853万円
国民健康保険事業特別会計	41億5813万円	39億4973万円
財産区特別会計	12億8532万円	1億2060万円
老人保健医療事業特別会計	22万円	22万円
下水道事業特別会計	9億6071万円	9億6071万円
介護保険事業特別会計	15億6357万円	15億2924万円
後期高齢者医療事業特別会計	2億6384万円	2億5767万円
水道事業会計	収益的収支(税込み)	5億7248万円
	資本的収支(税込み)	7236万円
合計	195億1261万円	173億6782万円

収益的収支：経営活動（水道料金）の収益とこれに対する費用
資本的収支：将来の経営の安定を図るための設備投資などの費用

平成22年度決算について決算特別委員会を設置し、台風15号の影響で一部日程を変更し9月15・16・20・22日の4日間で各会計の細部にわたって審査しました。また、今回の委員会では議会改革の一環として、委員会審査の効率化を図り担当グループごとに行いました。

水道施設の老朽対策は

役場庁舎水道設備に漏水があったと昨年度判明した。二次側設備（利用者側）の老朽化にも対策が必要では。

異常を察知した際注意を促す

検針人がメーター検針時に、過去のデータとの比較から異常な使用水量を察知した場合、注意を促す通知を出している。

コミセンの利便性向上を

野添コミセンでは土足での入館が可能である。他のコミセンも高齢者や障がい者の方がかかむ動作などの負担を減らし、より利用しやすくしては。

コミセン間で共有

土足での入館に対する利便性の向上について、コミセン間で共通認識を持っていく。

街灯の省エネ移行は

街灯設置が行き届きつつあり、住民の安全に寄与している。長期的省エネの見地から、LED電球への移行は。

LED電球の移行を検討

他町に比べ明るいと認識している。町管理の街灯からLED電球に変えていくよう検討する。

太陽光パネルの設置コストは

学校園に設置した太陽光パネルは、住宅用と比べキロワットあたりの設置コストが高すぎるのではないかと。

費用は適正である

太陽光パネル設置に伴い屋上防水工事も同時に行ったのが主な要因である。費用は適正であると考えられる。

北池広場に街灯設置を

北池広場は、地域の避難場所だが夜間照明がなく危険である。池周辺とともに街灯を設置できないか。

前向きに検討する

地元自治会からの要望もあり、設置を前向きに検討する。

町有地の有効活用を

町内の普通財産用地については整理し、有効に活用すべきでは。また町有地は適切な管理を。

要望の都度対応する

公共事業の代替地として活用してきたが、一応のめどもつき、今後は普通財産を有効に活用していく。管理については、要望があれば、その都度対応している。

防災無線の効果は

今回の台風12号の被害は多大であった。1億2千万円もかけた防災無線の声がほとんど聞こえなかったが。

今後、検証していきたい

想定外の雨量のため、雨音で聞きづらかったようである。音量・発声方法など検証していきたい。

指定管理者の監督は

指定管理者の資金・人の出入りは十分に把握しているのか。また、人件費についても監督しているのか。

必要があれば監査を行う

定期的に事業報告を受けており、必要があれば監査を行う。人件費は町として関与はしない。